

個別化医療に向けた 次世代医薬品創出基盤技術開発

平成24年10月

経済産業省製造産業局

生物化学産業課

個別化医療に向けた次世代医薬品創出基盤技術開発について

①名称 ②期間 ③予算

- 実施期間 : 平成25年度～平成29年度
- 全体事業費 : 405億円
- 平成25年度概算要求額 : 81億円
(うち要求枠:5億円 要望枠:76億円)

平成25年度は、我が国の強みを活用した次世代医薬品創出に必要となる以下の3つの基盤技術の開発に着手する。

①IT創薬技術

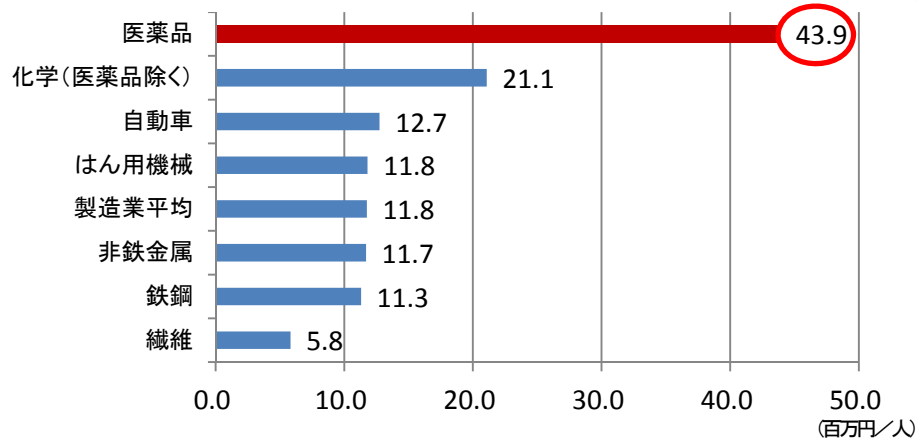
②次世代抗体医薬等の安定生産技術

③体内動態把握技術

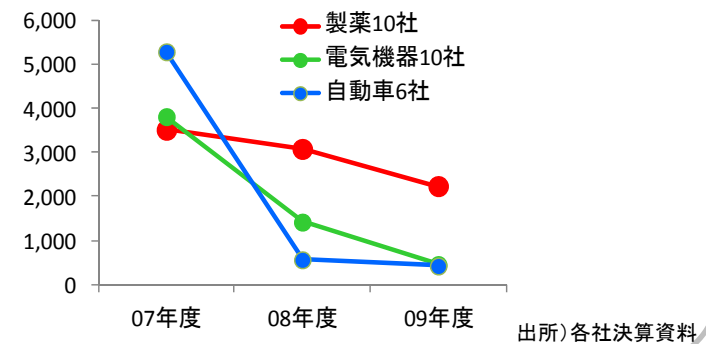
1. 創薬・再生医療分野への期待

- 急速な少子高齢化が進む我が国が、長期に亘って持続的な経済成長を実現するためには、**知識集約型・高付加価値経済**への転換が必要。医薬品産業は、知識集約型・高付加価値産業の代表格。
- 世界的に見ても新薬を継続的に創出できる国は限られており、我が国は、**アジアで唯一新薬の生産国**。
- 細胞を利用して組織や臓器の機能を回復させる「**再生医療**」は、生涯に亘って治療が必要な患者の生活を改善するとともに、**増加する一方の社会保障費の削減に寄与**することが期待される。

【従業員一人あたり付加価値額(2009年)】



【産業別納税額の比較】



○日本再生戦略(2012年7月閣議決定)

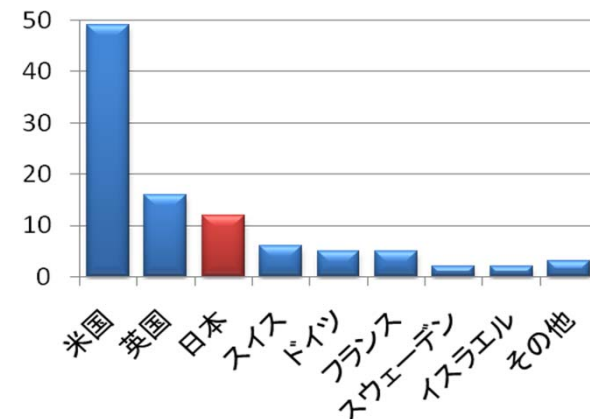
ライフ・イノベーションは4つの重大分野の内の一つ。

【2020年までの目標】

需要に見合った産業育成と雇用の創出

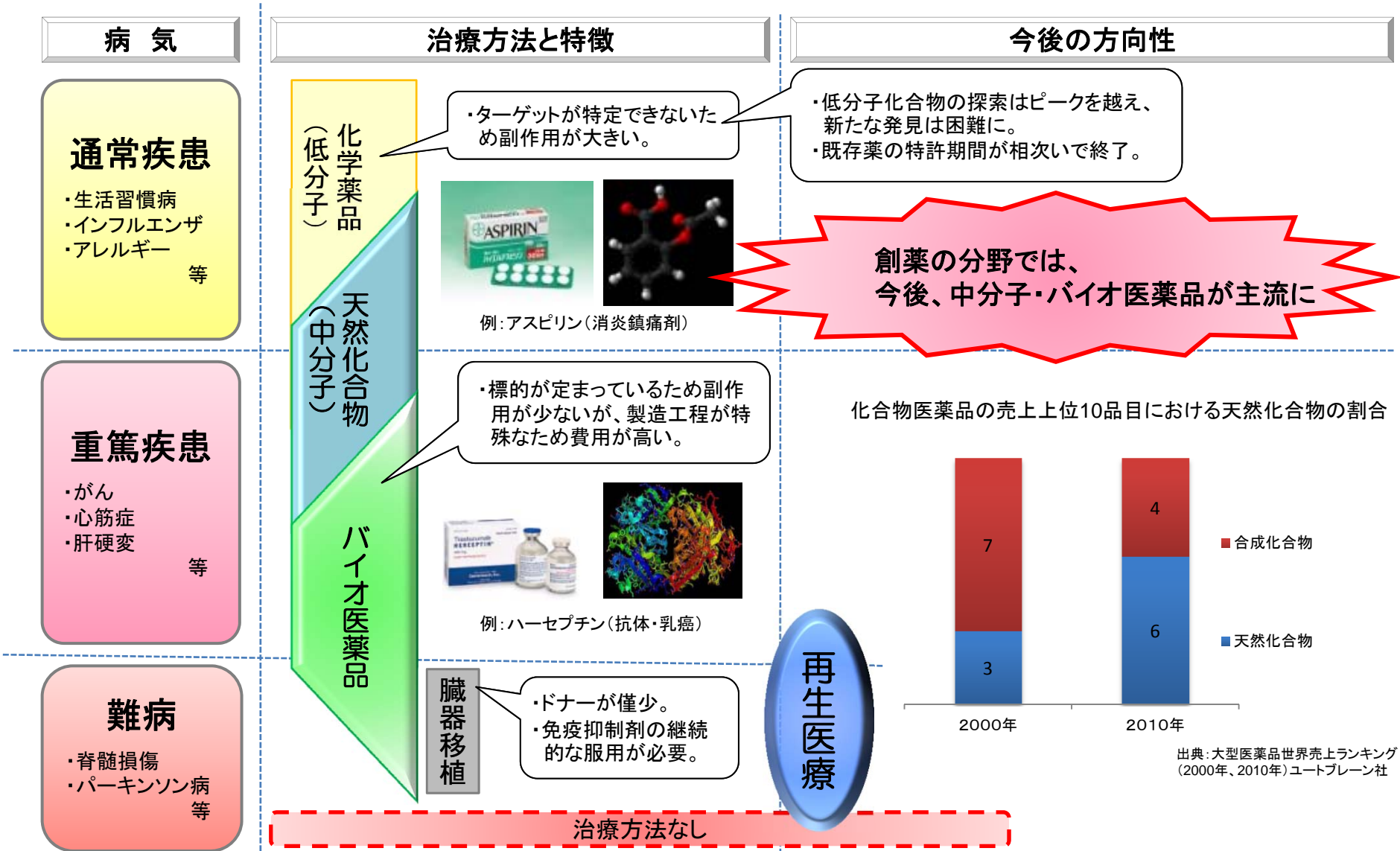
■新規市場 **約50兆円**、新規雇用 **284万人**

【2008年度世界売上上位100品目の開発国】

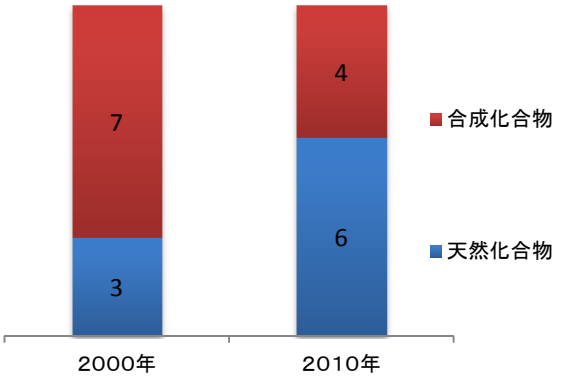


2. 医療分野における現状と今後の方向性

- 医薬品の分野では、世界的に低分子化合物から**中分子・バイオ医薬**へ大きくシフトしつつある。
- iPS細胞等の幹細胞を用いた「**再生医療**」により、**医療の概念が大きく変わる可能性**も期待される。



化合物医薬品の売上上位10品目における天然化合物の割合



出典: 大型医薬品世界売上ランキング (2000年、2010年) ユートブレン社